

## J S C A 関西 脱炭素推進委員会 第 1 回打合せ記録 (案)

■ 日 時 : 2024 年 6 月 18 日 (火) 18:00 ~ 19:30

■ 場 所 : JSCA 関西事務所

■ 出席者 :

委員長	○	前川 (竹中工務店) Mk				
メンバー	○	安野 (鴻池組) Y	○	橋本 (北條建築構造) H	○	岡田 (日建設計) O
メンバー	○	松村 (東畑事務所) Mt	○	尻無濱 (GBRC) Sr	○	柴田 (大林組) Sb

※F : ファシリテーター、敬称略

(○ : 出席、□ : オンライン出席、x : 欠席)

### ■ 議事内容

#### 1. 自己紹介

#### 2. 準備 WG~委員会発足の経緯の共有

- ・ 20240425 幹事会資料
- ・ 20240521 準備 WG 最終回議事録

#### 3. 委員会活動方針について

- ・ 前川委員長より、活動方針案についての説明が行われた。以下、概要。
  - 準備委員会で議論した内容として、構造設計分野において脱炭素を推進するアクションを(1)今、できること、(2)今後すべきこと、(3)リテラシー強化、の3つのカテゴリーに分けた。これらについて、①情報収集・情報整理、②具体的な取り組みの検討・実施、の2段階で活動を進めていく案としている。また③定常情報発信として、Structure Kansai への連載を挙げている。
  - 定常発信については、前川委員長作成の脱炭素講座が質・量ともに十分なものがあり、まずはこれを委員会にてレクチャーし共有するところからスタートしたいと思う。これを最新の情報に更新して③の定常発信に載せる。
  - 活動体制は(1)~(3)のカテゴリーに委員を班分けして活動することをイメージしている。
- ・ 活動方針について討議を行った。以下、概要。
  - Structure Kansai10月号に特別委員会の立ち上げは取り上げる予定。お盆過ぎくらいに原稿 UP。ボリュームは広報委員会としては1Pを希望。(Y)  
→まずは委員会の紹介として、脱炭素講座の開始は次回以降で考える。(Mk)
  - 脱炭素と聞いて新材料などをイメージしたが、今できることを見ると当たり前に行えることがある、と感じた。社内で開発した技術などもあるが、その枠組みを超えた取り組みとして、オープンで使いやすい技術を育てる、という切り口などは面白そうに感じた。(Sb)
  - GBRC で試験する材料で脱炭素関連のものなどが出てきていたりするのか? (Mk)

- 個人として把握はしていないが、以前に比べて相談は出てきていると感じている。(Sr)
- 既存活用のハードルが高い。脱炭素に関連してそのハードルが下がると良いのだが。(Mk)
  - 相談としては増えてきている感覚はある。(Sr)
- 脱炭素講座については、委員会で1回に20分くらい、講義ベースで行って、委員の知識がある程度ついてきた段階で、班分けなどを行って次の活動ステップにつなげていく。(Mk)
- この委員会の活動の結果の具体的なアウトプット、目指すところがあった方がよいのでは。(Mt)
  - 成果物という具体的なイメージはまだ持っていない。脱炭素自体のゴールも相当先にある。活動内容については、委員がある程度知識を身に着けた上で、ある種自然発生的に生まれてくるものがあるだろう、と思っている。(Mk)

#### 4. 副委員長、事務局の選出

- ・岡田委員を副委員長、柴田委員を事務局とすることで決定。

#### 5. その他（次回に向けて）

- ・次回開催予定日：2024年7月18日（木）18：00～  
（懇親会 19：30～）
- ・共有サーバー、フォルダについて
- ・6/27(木)運営会議で、脱炭素推進委員会発足、活動概要を報告予定（前川）

以上